

240319

研究成果報告会

2020年食料品アクセスマップと 困難人口の推計結果について

農林水産政策研究所

高橋克也 katsuyat@affrc.go.jp

2020年食料品アクセス困難人口の推計結果の公表及び説明会の開催について

農林水産政策研究所は、食料品アクセス問題に対処するため、2020年の食料品アクセス困難人口（店舗まで直線距離で500m以上、かつ、65歳以上で自動車を利用できない人）の推計結果を取りまとめました。

また、令和6年3月19日（火曜日）に、本推計結果を含む説明会を開催します。

背景

近年、飲食料品店の減少、大型商業施設立地の郊外化等に伴い、過疎地域のみならず都市部においても、高齢者を中心に食料品の購入に不便や苦勞を感じる消費者が増えており、食料品の円滑な供給に支障が生じる等の「食料品アクセス問題」が顕在化しています。

農林水産省は、この「食料品アクセス問題」に対処するため、食料品アクセス困難人口の推計結果を取りまとめました。

推計結果の概要

食料品アクセス困難人口

2020年における食料品アクセス困難人口は、全国で904万人と推計され、全65歳以上人口の25.6%であった。このうち75歳以上では566万人、全75歳以上人口の31.0%であり、食料品アクセス困難人口のうち75歳以上の占める割合は63%であった。なお、データが異なるため連続しないが、2015年との比較では全国で9.7%増加、このうち75歳以上では5.7%増加であった。

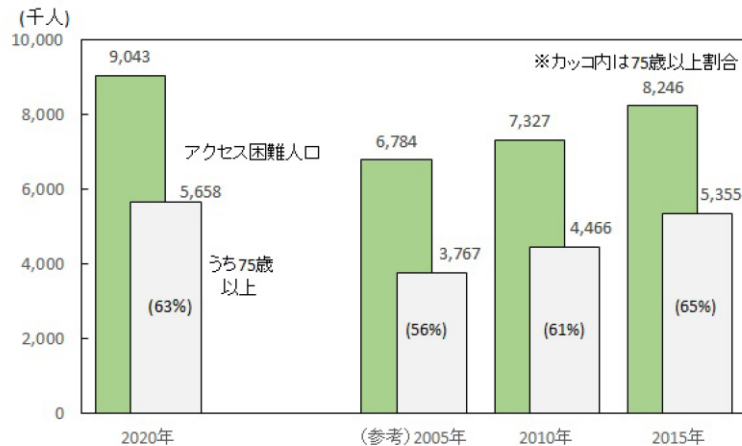


図 食料品アクセス困難人口の動向（年齢階層別）

1. 食料品アクセス問題とは

- フードデザート、買い物難民、買い物弱者、食品アクセス
←同種の社会的課題

供給要因：食料品を購入できる店舗の減少

需要要因：高齢化による認知能力・運動機能の低下

→家計・個人のフードセキュリティとして問題化

→食品摂取の制約、健康にも影響

→地域としての存続

・・・食料品アクセス問題の多面性
新たな食料・農業・農村基本法にも

2. 食料品アクセス問題の可視化

a. 全国・マクロ分析

- アクセス困難人口の推計

→どこに・どれだけ？

b. 個人・ミクロ分析

- 買い物の不便と食品摂取の関係

→誰が・どんな状態か？

c. 地域・ローカル分析

- 買い物環境と利用者意識
- 住民意識の抽出

→どう解決するか？

(2020年)アクセス困難人口の定義

店舗(ドラッグストア・コンビニ・食料品スーパー等・生鮮食料品販売店舗)まで500m以上、かつ自動車利用が困難な65歳以上高齢者

…食料品アクセスマップの推計によりアクセス困難人口算出

→客観的指標として、定量化、可視化が可能

アクセス困難人口

→店舗、(高齢者)自動車利用、(高齢者)人口で規定

※以下、アクセス困難人口(困難人口)、アクセス困難人口割合(人口割合と略)

アクセスマップの推計方法

- 人口のある500mメッシュ単位に、当該及び周辺メッシュの店舗状況から、最も近い店舗が500m以上である確率を算出。
- この確率に人口を乗じて、メッシュごとに店舗まで500m以上の人口を推計。
- 2015年国勢調査・2014年商業統計メッシュ統計より作成



(2020年アクセスマップ)

- 2020年国勢調査・2021年スーパー名鑑等

アクセス困難人口とは？

・・・店舗まで500m以上の人口推計

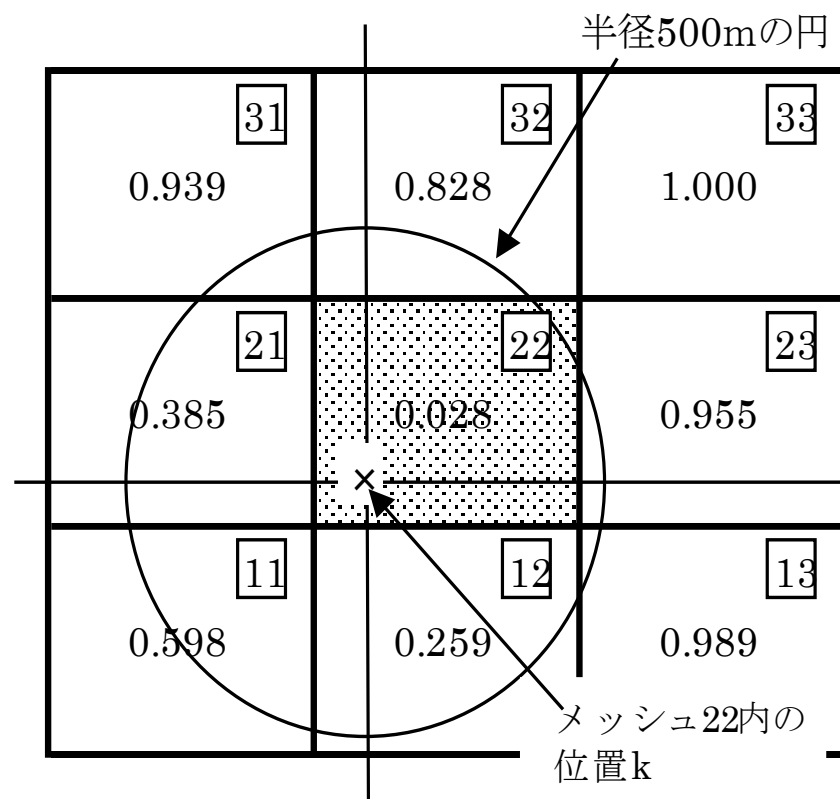


図 各メッシュにおける店舗まで500m以上確率

3. 2020年アクセスマップの推計

○店舗について

従来推計(2015年まで):

- ・一般小売店(野菜・果実、食肉、鮮魚、酒、菓子・パン小売業)
- ・食料品スーパー等(総合量販店、食料品スーパー、百貨店)
- ・コンビニエンスストア

を店舗業態別に推計し、支出金額シェアで加重平均

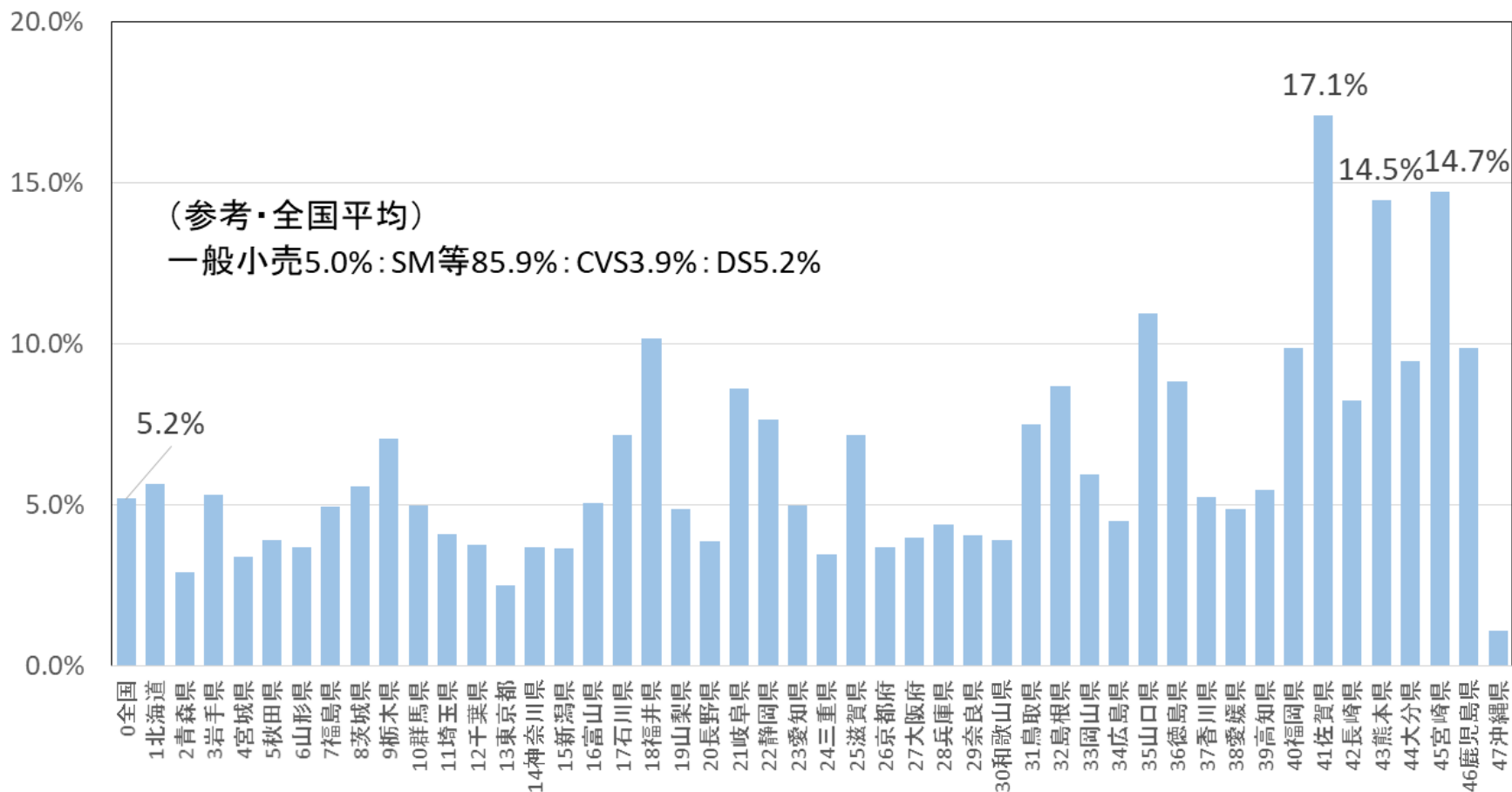
新推計(2020年):

- ・上記から、酒、菓子・パン小売業を除き、ドラッグストアを追加

表2. アクセスマップ推計方法の変更

	2005～2015年推計	2020年推計
人口 (データ)	65歳以上人口 (国勢調査メッシュ統計)	65歳以上人口 (国勢調査メッシュ統計)
店舗 購入先 (データ)	生鮮食料品販売店舗 食料品スーパー・コンビニ等 (商業統計メッシュ統計) (全国消費実態調査)	左記＋ドラッグストア (日本スーパー名鑑、 電話帳データ等) (全国家計構造調査)
自動車利用 (データ)	年齢階層別・自動車利用率 (全国消費実態調査等)	年齢階層別・自動車利用率 (家計調査個票等)
推計値	824.6万人 (2015年)	904.3万人

資料：農林水産政策研究所



2019年全国家計構造調査・総世帯・65歳以上世帯主
食料(除く外食)・ディスカウント購入割合

4. 2020年困難人口の推計結果

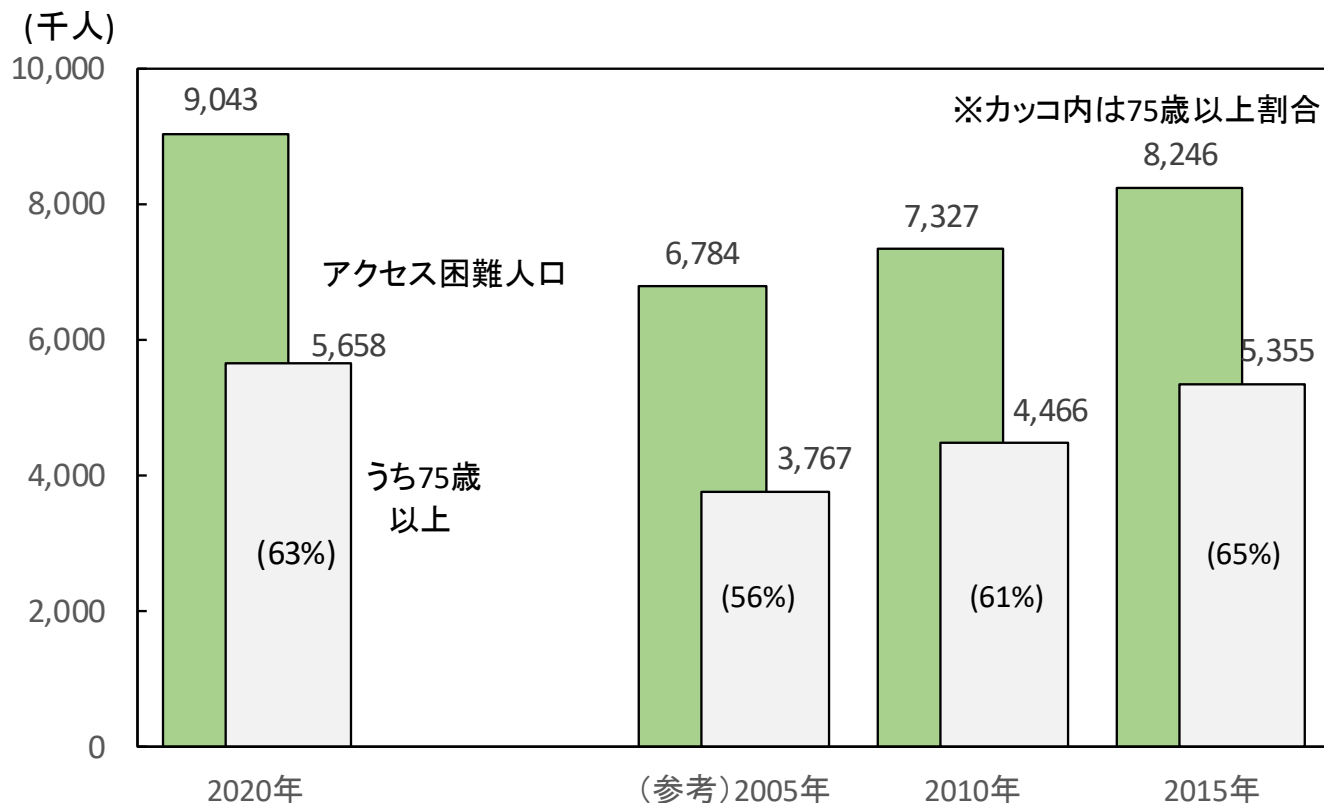


図1. 食料品アクセス困難人口の動向(年齢階層別)

資料: 農林水産政策研究所

注1) アクセス困難人口とは、店舗まで500m以上かつ自動車利用困難な65歳以上高齢者を指す。

2) 「令和2年国勢調査メッシュ統計」および店舗の所在地が分かるデータ等を用いて推計したものである。

3) 店舗は、食肉、鮮魚、果実・野菜小売業、百貨店、総合スーパー、食料品スーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストアである。

4) 東京圏は東京、埼玉、千葉、神奈川、名古屋圏は愛知、岐阜、三重、大阪圏は大阪、京都、兵庫、奈良である。

5) ラウンドのため合計が一致しない場合がある。

6) 2020年と2015年以前はデータが異なるため連続しない。

アクセスマップ比較 2015年→2020年

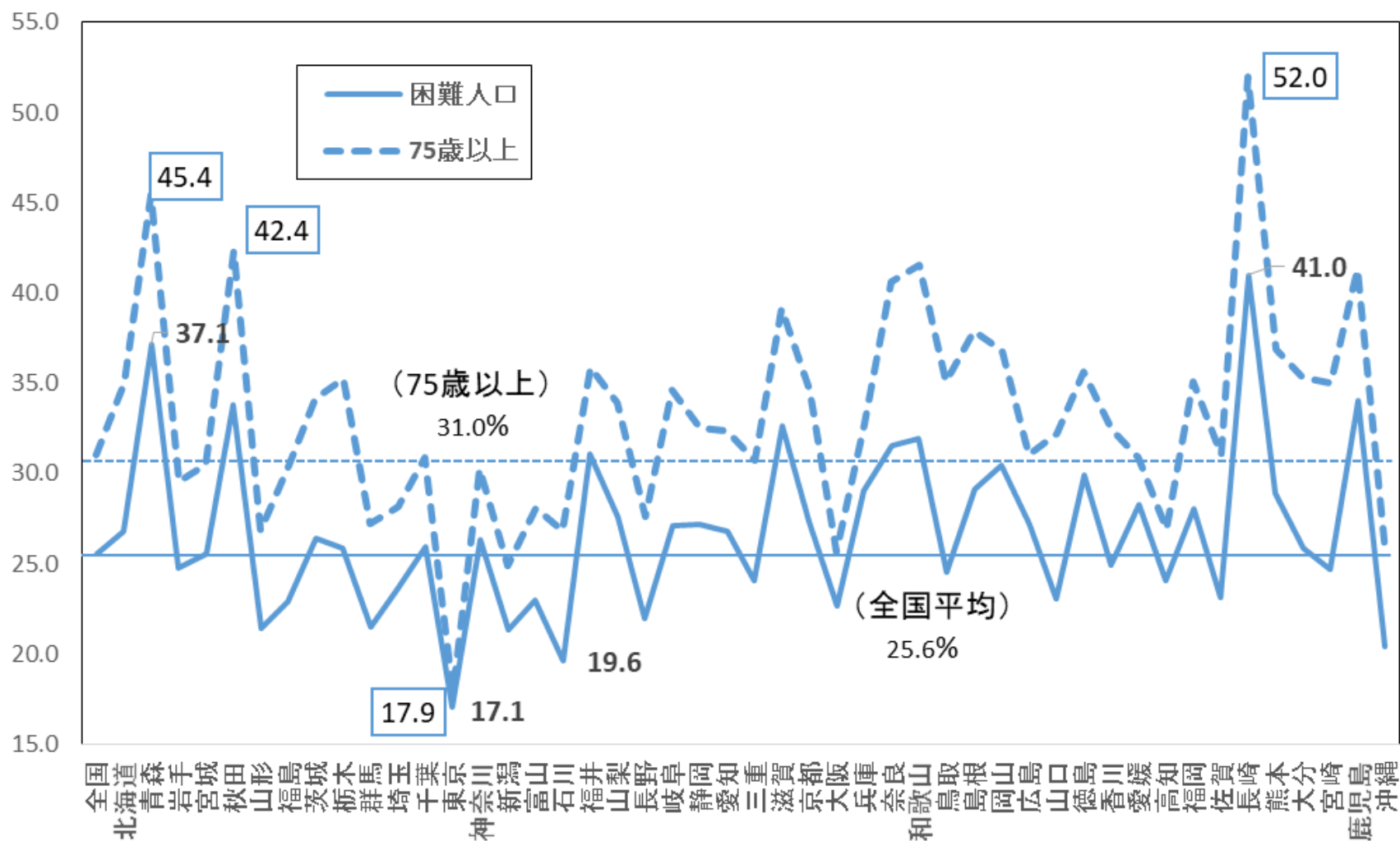
都道府県別・困難人口(抜粋)
詳細は農林水産政策研究所Webサイト
「食料品アクセスマップ」ページ参照

https://www.maff.go.jp/primaff/seika/fsc/faccess/a_map.html

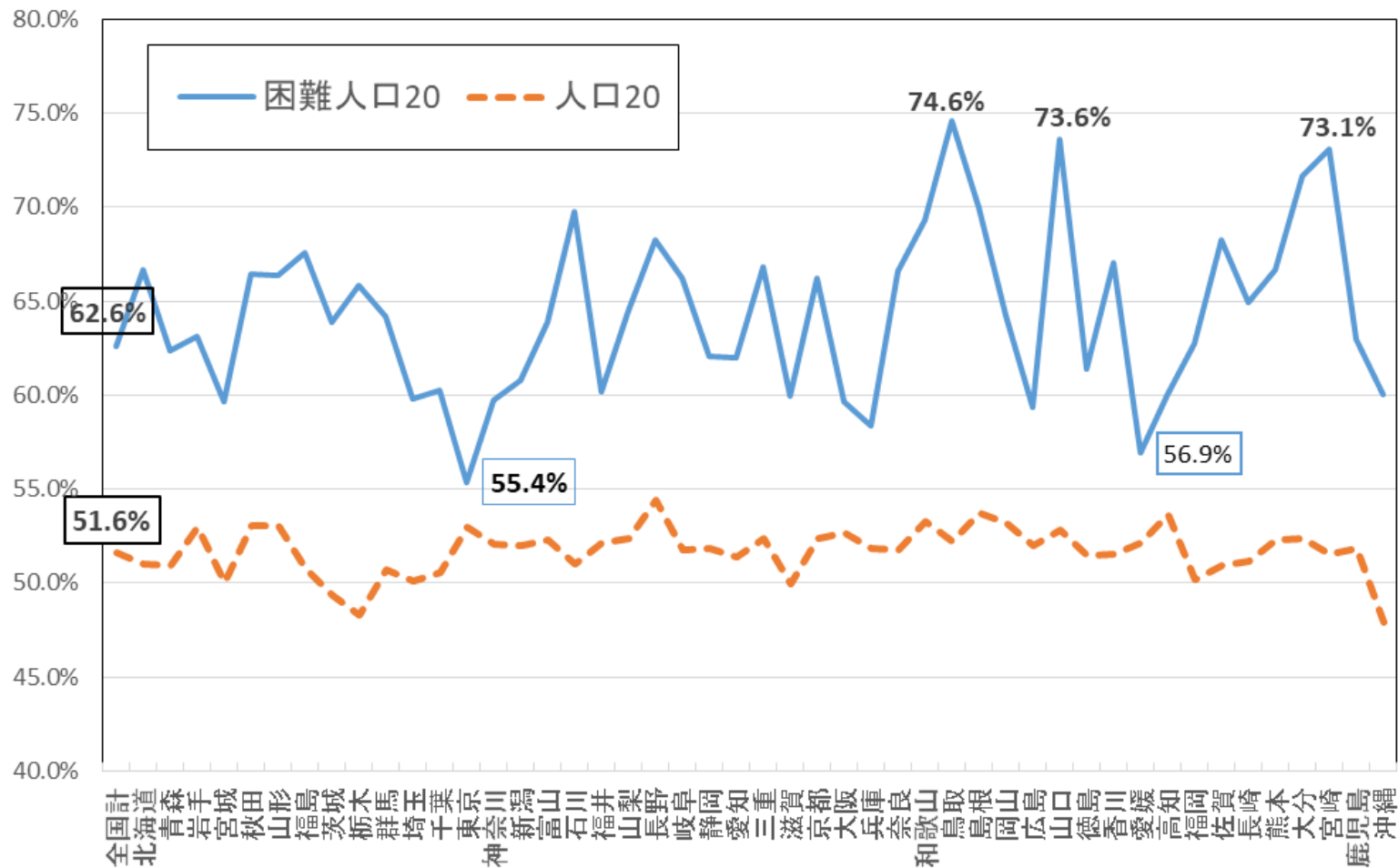
表4. 食料品アクセス困難人口の動向(都道府県別)

(千人, %)

	2020年a				75歳以上割合	(参考) ※2020年とはデータが異なるため連続しない					
			75歳以上b		(b/a)	2005年		2010年		2015年	
	割合		割合			75歳以上		75歳以上		75歳以上	
全国	9,043	25.6	5,658	31.0	62.6	6,784	3,767	7,327	4,466	8,246	5,355
北海道	446	26.8	297	35.0	66.7	375	211	403	257	452	294
青森	153	37.1	96	45.4	62.3	113	59	119	72	132	90
岩手	100	24.8	63	29.5	63.1	111	61	105	72	112	80
宮城	163	25.6	97	30.5	59.6	119	62	125	79	143	96
秋田	121	33.8	80	42.4	66.4	107	59	110	73	107	81
山形	77	21.4	51	26.8	66.3	83	50	80	57	81	60
福島	131	22.9	89	30.4	67.5	145	84	148	102	138	101
茨城	222	26.4	142	34.1	63.8	162	99	161	99	157	117
栃木	143	25.8	94	35.3	65.9	106	57	100	61	98	75
群馬	124	21.5	80	27.2	64.2	98	64	102	72	103	70
埼玉	457	23.6	273	28.2	59.8	242	117	315	160	386	217
千葉	441	25.9	266	30.9	60.3	252	111	335	166	389	212
東京	531	17.1	294	17.9	55.4	391	186	459	232	601	340
神奈川	608	26.4	363	30.2	59.7	359	174	439	217	606	343
新潟	153	21.3	93	24.9	60.7	162	93	159	109	185	135
富山	76	23.0	49	28.1	63.9	72	46	73	52	72	56
石川	65	19.6	46	26.8	69.7	73	44	71	48	85	59
福井	72	31.1	43	35.8	60.2	51	30	55	36	51	41
山梨	68	27.6	44	33.9	64.5	60	35	52	37	50	41
長野	142	22.0	97	27.6	68.2	139	89	144	108	142	115
岐阜	161	27.1	107	34.6	66.2	122	72	128	89	114	84

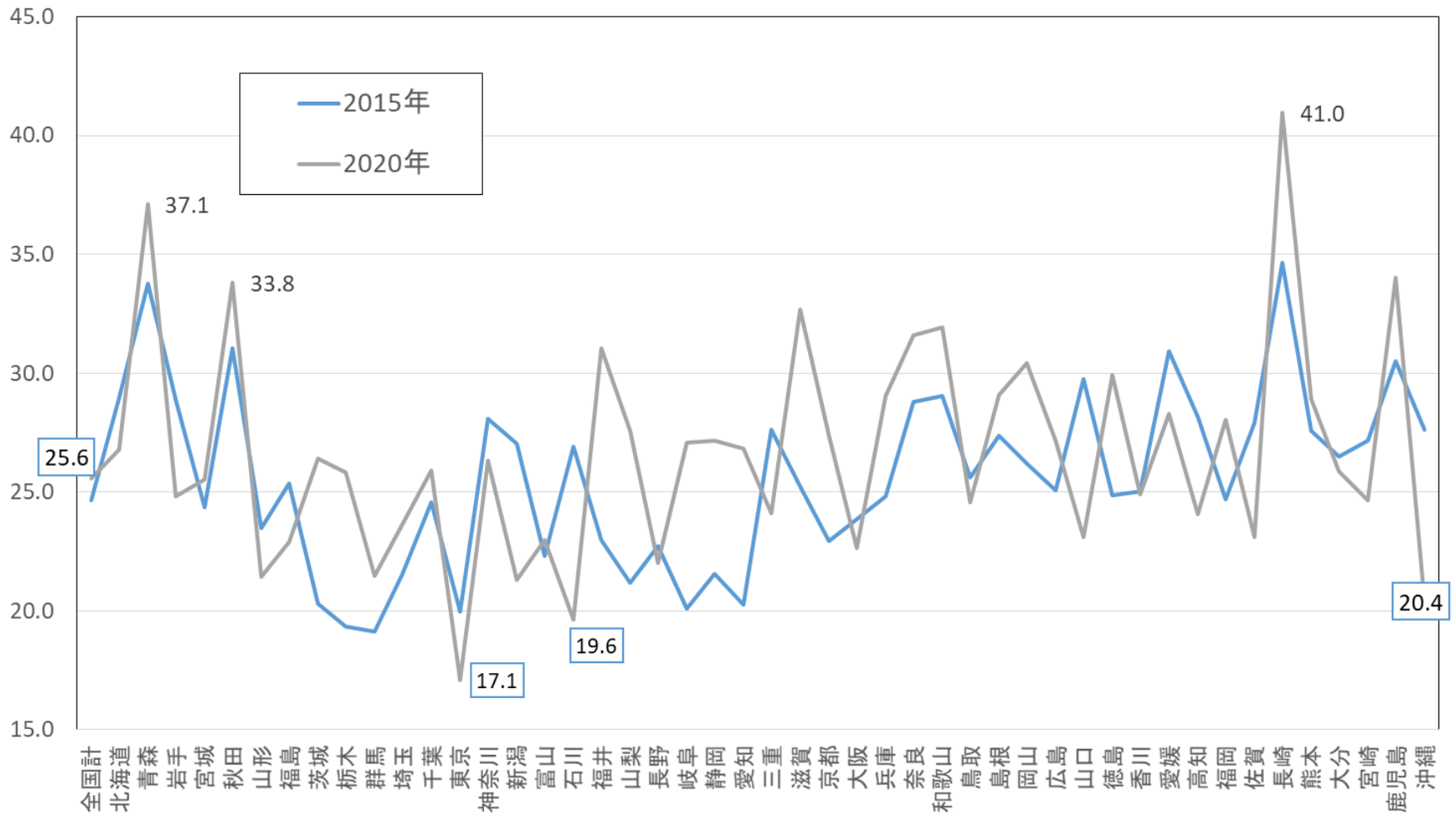


図＊. 2020年・困難人口割合(都道府県別)



2020年・困難人口・人口の75歳以上割合

アクセスマップ比較 2015年→2020年



図*. 都道府県別・困難人口割合(2015年・2020年)

アクセスマップ比較

2015年→2020年

表. 2020年アクセス困難人口(都道府県別)

	人口割合	困難人口 (万人)	2020/2015
全国計	25.6%	904.3	9.7%
(人口割合・上位)			
長崎	41.0%	17.6	25.8%
青森	37.1%	15.3	16.2%
鹿児島	34.0%	17.2	17.6%
秋田	33.8%	12.1	13.3%
滋賀	32.7%	11.9	39.9%
(人口割合・下位)			
山形	21.4%	7.7	-4.6%
新潟	21.3%	15.3	-17.6%
沖縄	20.4%	6.6	-13.8%
石川	19.6%	6.5	-23.3%
東京	17.1%	53.1	-11.6%

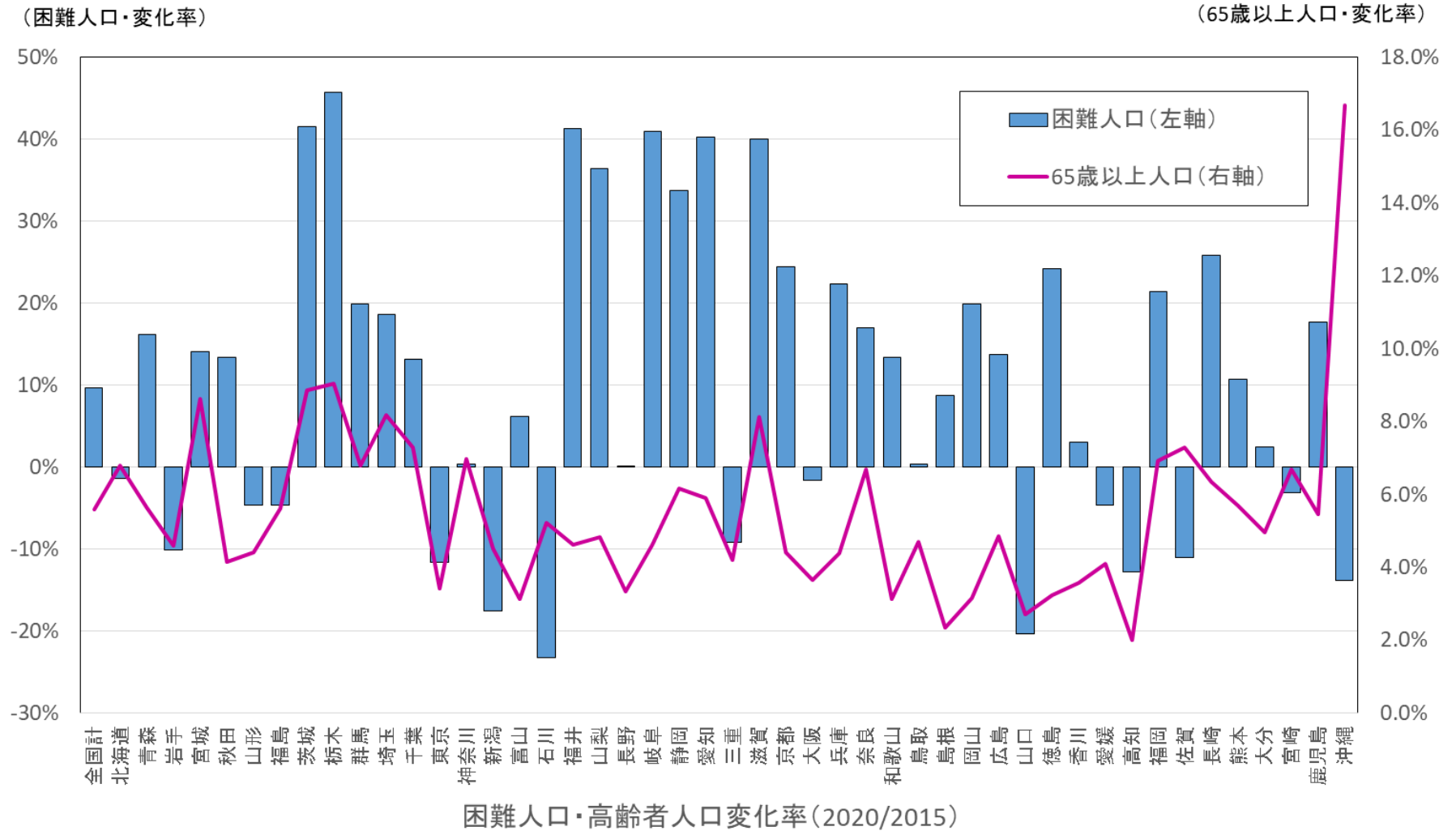
アクセスマップ比較 2015年→2020年

表. 2020年アクセス困難人口(75歳以上・都道府県別)

	人口割合	困難人口 (万人)	2020/2015
全国計	31.0%	565.8	5.7%
(人口割合・上位)			
長崎	52.0%	11.4	20.9%
青森	45.4%	9.6	5.7%
秋田	42.4%	8.0	-1.1%
和歌山	41.6%	6.8	17.2%
鹿児島	41.3%	10.8	2.7%
(人口割合・下位)			
山形	26.8%	5.1	-15.0%
大阪	25.7%	31.9	8.9%
沖縄	25.6%	4.0	-31.2%
新潟	24.9%	9.3	-31.3%
東京	17.9%	29.4	-13.5%

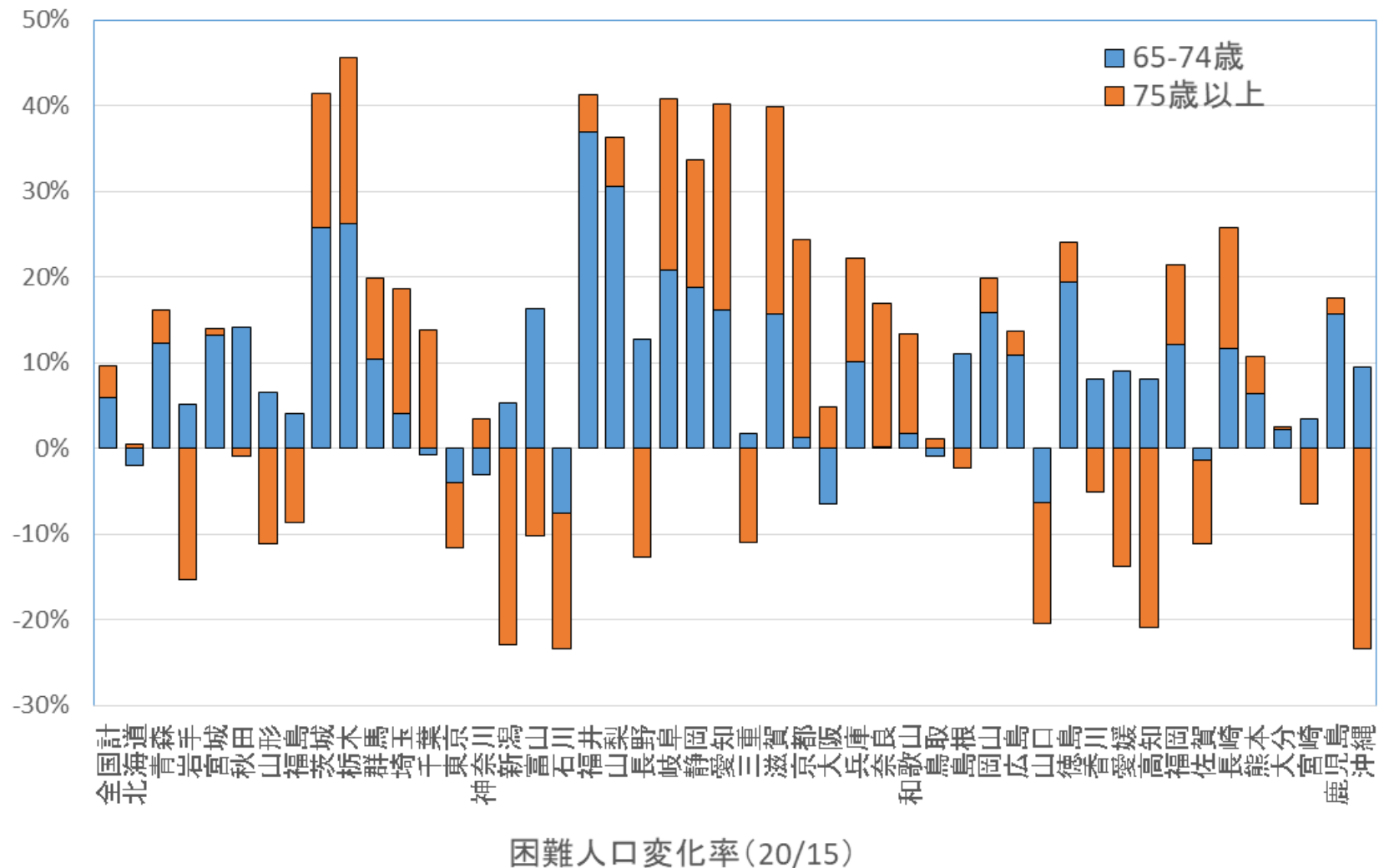
アクセスマップ比較

2015年→2020年



アクセスマップ比較

2015年→2020年



5. まとめ

- ・2020年推計値と2015年以前は連続しない
- ・困難人口は全国で904万人、うち75歳以上は566万人に
- ・困難人口は高齢者1/4、後期高齢者では1/3を占める
- ・困難人口は75歳以上に偏り
- ・推計基礎データによっては、今後の推計が困難に
- ・食料品アクセス問題の経済的側面にも着目を

ありがとうございました。

※関連情報については

農林水産政策研究所Webサイト「食料品アクセスマップ」ページをご覧ください。

https://www.maff.go.jp/primaff/seika/fsc/faccess/a_map.html

(検索: 食料品アクセスマップ)

お問い合わせ: katsuyat@affrc.go.jp